

## 上州：岩櫃山

- ◆日程 2022年6月10日(金)
- ◆メンバー IZ
- ◆天候 曇りときどき晴れ

眺める対象であった山に登りそこに立つことは、山登りの楽しみの一つであると思う。自分にとっては、学生時代栃木県から眺めていた筑波山、山1年目に常念岳から眺めた槍ヶ岳、山2年目に槍ヶ岳から眺めた三俣蓮華、雲ノ平。今回の岩櫃山も、そんな憧れから始まった。

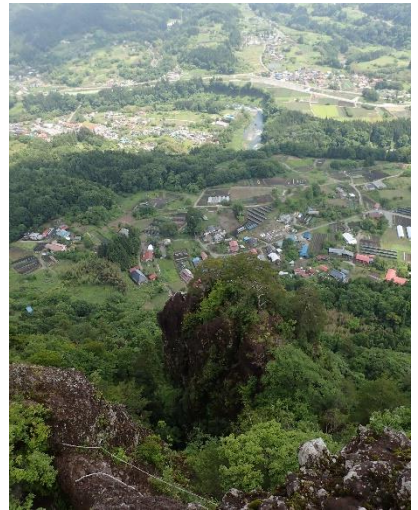
5月の連休、志賀高原にある日本一標高の高い横手山スキー場で春スキーをした。道中、国道145号から仰ぎ見た、中国の水墨画のように神秘的で、ごつごつした要塞のような山にいずれ登ると決めた。意外と早くその機会は訪れ、負欠スラブに向かう前日に登ることにした。

調べるなかで、2016年の大河ドラマ「真田丸」のオープニングに登場しているらしいと知った。わたしは2015年秋から2017年春にかけ南極にいたため日本の事情に疎く、真田丸と五郎丸さんの違いもよくわからないくらいでありあまりピンとこなかったのが残念ではある。

さて肝心の岩櫃山であるが、密岩通りはまずまずの急登で、登り口までに「熊注意」と散々書いてあったのを気にする余裕もなく、梅雨時で虫の多い樹林帯を抜け岩場に着くまでが一苦勞であった。一枚岩の長い鎖がいくつかあり、空中に飛び出すような感覚、しかも切れ落ちた眼下に集落が広がっていることから高度感がかなりあった。独立した頂上は360°の見晴らしが抜群で、いつまでだっているような気持ちのよい場所であった。ここ3年岩トレに参加しておらず、前の週に焦って久しぶりの戸塚 RISE にいったもののあまりに登れなく愕然としたが、緩傾斜のクライムダウンはやっておいてよかった。下山路は沢通り～尾根通りを利用、途中にあった城跡はいかにも山城といった、雰囲気の良い場所であった。

横浜からの道のりがかなりあるので、単に日帰りではもったいないが、変わった山、わくわくを求める方にはかなりのおすすめである。妙義に荒船山どちらもまだ行っていないが、「日本のドロミテ」立岩、「日本のポンペイ」子持山と、群馬にはそういう、こころ惹かれる山がたくさんある。

(記：IZ)



CT：郷原駅(一合目) 8:30 - 密岩通り登山口(三合目) 9:05 - 鞍部(六合目) 9:38 -  
山頂-10:06/10:26 - 岩櫃城本丸城址 11:26 - 尾根通り登山口 11:37